



第 1345 回例会報告

平成25年12月19日(木)晴

会長挨拶

会長 平山隆勇

のりさんの死から学ぶこと

(川嶋 朗先生の言葉より)

2012年12月5日歌舞伎役者の中村勘三郎さんが亡くなってから1年が経ち、先日テレビで「勘三郎最後の言葉」という一周忌特別番組が放映され、私は偶然それをみていました。

亡くなる2年前、勘三郎さんは超多忙の中体調を崩しますが、それを何とか切り抜け、半年後に復帰。その後1年ほど経ち体力も徐々に回復し、新しい歌舞伎座での出演もできそうに感じていた矢先の2012年7月、食道がんが発見されてしまいました。勘三郎さんは外科手術を受け、手術の直後は経過も良く集中治療室内でリハビリも始めたのですが、6日目に誤嚥による肺炎を起こし、それが悪化して人工呼吸器が必要な状況に陥りました。その後家族に励まされながら懸命の治療を受けましたが、次第に悪化し、11月にはほとんど絶望的な状態になってしまいました。8月から人工呼吸で声が出せない状態がずっと続いていたので、家族は最後に何とか声を出させてあげたいと医師に頼み、特別な方法で人工呼吸器を2~3分間外して声を出せるようにしてあげたのです。その時勘三郎さんは奥さんの名前、そして息子達の名前を順番に呼んだそうですが、その後「何か言ってごらん」と家族が言うと、何と歌舞伎『寺子屋』の主人公である「松王丸」のセリフをやってみせたのです。セリフと言っても、息子の命を犠牲にしてまで忠義を尽くした「松王丸」の泣き笑いの場面で、それを息子さんが録音していたのです。それまで

何となくテレビを見ていた私も、思わずボリュームを上げて聞き入りました。弱々しい声ですが、確かに泣き笑いする松王丸を演じたのです。再び人工呼吸器が取り付けられ、しばらくして勘三郎さんは帰らぬ人となりました。

この番組をみた後、中村家のホームドクターで勘三郎さんの親友でもあった川嶋朗先生の『人が死ぬときに後悔する34のリスト』という本を読む機会がありました。そこに勘三郎さんのことが書いてあり、幾つかのことが分かりました。人工呼吸器が必要になったのは「急性呼吸窮迫症候群」という状態だったようです。急性呼吸窮迫症候群(ARDS)とは、急に呼吸が困難になることで、敗血症、重症肺炎、外傷などをきっかけに引き起こされる合併症で、好中球という白血球の一種等から放出される様々な物質により最終的には肺組織が破壊される、大変致死率の高い状態のことを言います。そして勘三郎さんは9月から体外式膜型人工肺を付けることになりました。「肺線維症」という肺

■出席報告

会員数	36名
出席対象	33名
出席者数	24名
出席率	72.7%
前回修正	87.9%

■ニコニコBOX

21名	22,000円
累計	566,000円
目標額	130万円
達成率	43.5%

■今週のこぼ

暑い盛りに恋しかった雪が降りました。
うれしさよりも寒くて寒くて許して欲しい。
寒がりのミコちゃん

■次回のプログラム

1月9日
大社参拝
秋宮集合 11時20分
新春卓話
下諏訪町長青木悟様



が硬く縮んでしまいます状態にまで容体は悪化してしまつたのです。11月には最終手段である肺移植が検討されましたが、脳死患者からの臓器提供を待つと通常2年位かかるので、残された道は家族からの生体肺移植しかありませんでした。その提供に手を挙げたのが「勘九郎」「七之助」の二人の息子でした。肝臓と違い肺は増殖できないので、提供した人の肺の機能は低下したまま戻らなくなってしまいますが、「父が活着しているだけでいいからあげたい」と名乗りを上げたということです。しかし、12月4日、勘三郎さんは脳出血を起こしてしまいます。人工肺で使用する血液の凝固を抑える薬が投与されていますので出血を止めることはできず、翌日亡くなりました。移植手術の許可も下り、肺を提供する息子さん達の検査日程も決まっていた中での死でした。川嶋先生は「のりさんは自分で死んじゃつたのでは」と考えたそうです(勘三郎 なみの のりあきさんの本名は波野 哲明)。これから旬を迎える息子二人の役者生命を短くする位なら「もういいよ」と、自ら潔く旅立って行ったに違いないと思つたということです。

私も職業上いろいろな人の死をみる度に、自分にとって望ましい最後とはどういうものだろうかと常々考えていましたので、川嶋先生の「自分の理想の死について考え、準備をすることで人生はより豊かになる」という記述に改めて勇気づけられました。

そうは言っても自分の理想の最後は、中々私の頭の中に思い描けていません。みなさんはどうでしょうか。

◇2013-2014 通常委総会◇

議長を平山会長が務め、吉澤会長エレクトが次年度役員、理事を提案し原案通り満場一致で可決されました。

次年度理事予定者及び役職は次の通りです。



提案する吉澤エレクト

会 長	吉澤 邦雄
直前会長	平山 隆勇
会長エレクト(ノミニー)	御子柴文夫
副会長(クラブ奉仕委員長)	河西 達雄
職業奉仕委員長	萩田 均
社会奉仕委員長	山崎 勝彦
国際奉仕委員長	長崎 政直
青少年奉仕委員長	小口 直久
クラブ会報・雑誌広報委員長	高山 巖
幹 事	海老原十三
会 計	小松 孝弘
SAA	三村 昌暉
副幹事	西澤 賢二

第 1345 回例会

国際奉仕委員会

セブ島訪問報告

総会終了後、国際奉仕委員会によるセブ島訪問報告が行われました。ユーモアあふれながら、多くの問題を提起した長崎会員の発表でした。

それにしても鍵盤ハーモニカがこんなに活用されていることに感心いたしました。



次年度役員・理事の皆さん